

聴衆の心に届けたい

栖本ママさんコーラス「フラワーコール」



34年前、栖本小学校PTAのお母さんたちを中心に結成されたコーラスグループ。「当時はスポーツ活動が盛んで文化系の活動が少なく、手軽に始められるものがコーラスでした」と代表の金田順子さんは振り返る。

毎週土曜日の夜、ピアノ伴奏の先生宅で1時間半の練習。音合わせはもちろん、メンバー同士の大切なコミュニケーションの場となっている。

レパートリーは80曲を超え、老人福祉施設や地域の文化祭、天草合唱祭など年5回程ステージに立つ。歌う曲目やステージ衣装、譜面カバー選びにもこだわっている。

「今はメンバーが8人なので2部合唱が多いけど、歌や気持ちのまとまりはいいですよ」と話す金田さん。

「歌には、歌う人も聞く人も元気にしてくれる力があります。いつまでも元気で歌い続けていきたいと思えます」と話す皆さんの顔は、とても生き生きしていた。

牛深警察署錬成館少年柔道クラブ 柔道

牛深・河浦地域の幼児から中学生までの30人で活動中。体力づくりのトレーニングと基礎練習、練習試合など、子どもの集中力を高めるような練習をしています。

練習 牛深警察署3階で月・水・金曜日 午後6時30分～同8時30分まで。

問 岩崎 一孝さん ☎090(7920)2578

技をかけるタイミングが難しい!!

サッカー MAROLA 亀川

小学1年生から6年生まで69人が在籍。ジュニア・フレンドリー・エキスパートとレベルを分けて練習しています。男女不問。

練習 クラス別に実施。ジュニアは水曜日のみ。フレンドリーは火・水曜日。エキスパートは、火・水・金曜日。場所は亀川小学校グラウンド、亀川体育館など。

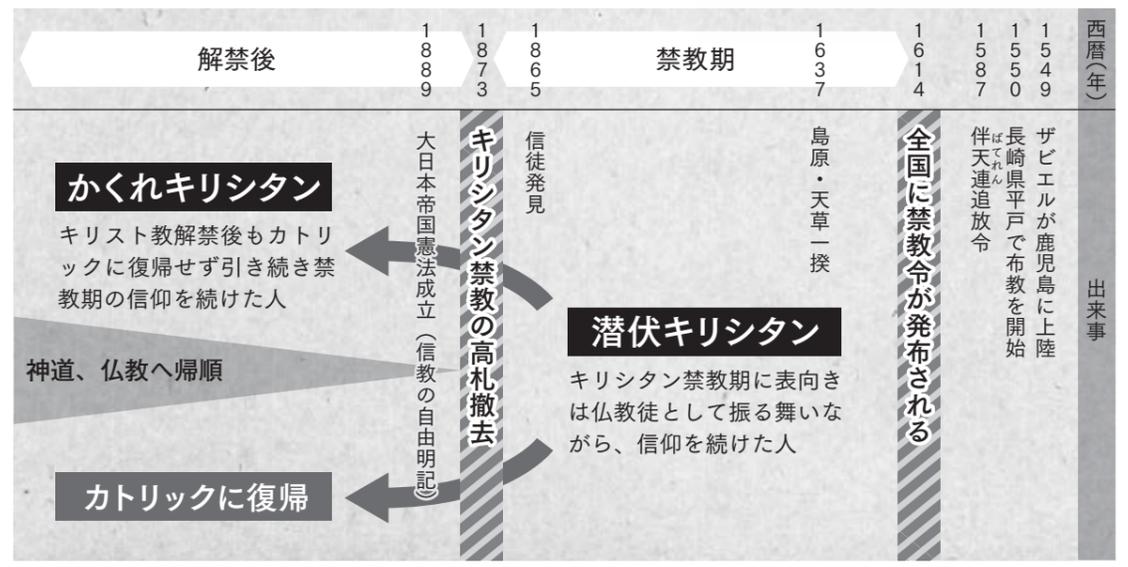
問 あげぼの児童クラブの中村 健志さん ☎669620

みんなで楽しくボールを追いかけています。

スポーツ大好きコ子 | 小学生社会体育クラブ紹介 |

「天草の崎津集落」
世界遺産登録への道
Road to World Heritage

来年夏の世界文化遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」。前回に続き、市民の皆さんから寄せられた質問にお答えします。



◎「潜伏」キリシタンと「かくれ」キリシタンは何が違うの？

▲「潜伏キリシタン」とは、江戸時代にキリスト教が禁じられているなかで、ひそかにキリスト教の信仰を続けていた人々のことを指します。一方で、キリスト教が解禁された明治以降も教会に復帰せず、先祖代々の信仰のやり方で信仰を続けた人々のことを「かくれキリシタン」と呼んでいます。

これは、禁教期と解禁後の社会情勢の違いを区別するために分けて表現しており、天草には昭和初期まで「かくれキリシタン」が存在しました。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、禁教期の中でも日本の伝統的宗教や地域社会と共生しながら信仰を続けていたことが、世界的にも珍しいことから世界文化遺産の登録候補となりました。なかでも崎津集落は、アワビ貝など身近なものをを用いて信仰を続けた特徴のある地域です。

「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」
世界遺産登録決定!!

7月9日、福岡県の「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界遺産委員会の審議の結果、世界文化遺産に登録されることが決まりました。これにより日本の世界遺産は21件となります。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、日本で22件目の世界遺産として、来年夏の登録を目指します!

潜伏キリシタン集落は、16世紀にキリスト教が伝来し潜伏キリシタンとなった集落(平戸、天草、外海)と18世紀末に海外地域から移住し、移住先の社会や宗教と折り合いをつけながら形成された集落(黒島、五島)の2つに区別されます。

【問い合わせ先】本庁・世界遺産推進室(河浦支所内) ☎761116